

スケルトン型DAコンバーター

DA-5000W HG

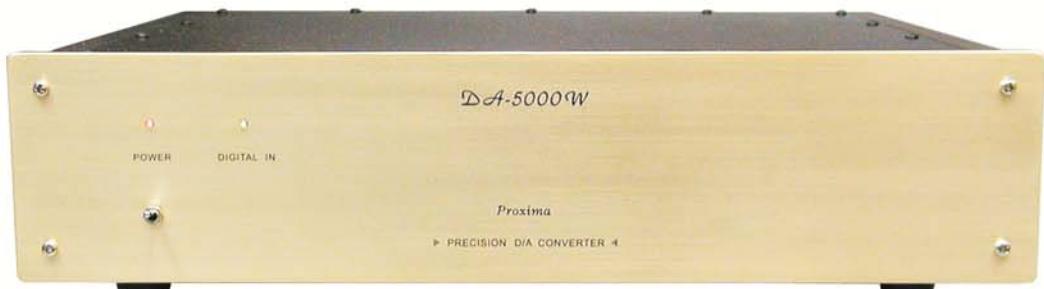
CDによる高忠実度再生の成功と失敗は、CDプレーヤーのDAコンバーターが鍵を握っています。

これまでのDAコンバーターも、オーバーサンプリング等の技術を駆使して賢明な努力を続けてきましたが、解明が精度を増していくと方々に思いがけない問題点を抱えていることがはっきりしてきました。

当社ではCDの根本原理にまで立ち返って、実験と試聴を重ね、ようやく「スケルトン型DA-5000W」を完成することができました。

DA-5000Wは管球出力方式ですが、更に1年の開発期間を経て純半導体出力式の”HG”タイプが加わりました。

音質は良くても管球式の課題だった、マイクロフォニックノイズ、長期安定性、管自体の音のばらつき等を解消すべく当初から研究を重ねて参りましたが、ようやく音質面でも現在の管球式を完全に凌駕するレベルに達しましたのでこの度、発表の運びに至りました。



【基本構想】

CDプレーヤーの決め手がDAコンバーターにあることは広く知られています。当社ではひたすら「音の鮮度」を追求して開発を進め、既に[DA-2000]で好評を戴いておりましたが、その後10年をかけて更にデジタル／アナログの変換機構に一歩踏み込み、最善と思われる「スケルトン型 DA-5000W」に到達しました。

「スケルトン」は根幹という程の意味ですが、音の鮮度に悪影響のあるデジタル、アナログのフィルターを一掃し、不要な機能もすべて省いたベーシックなモデルです。

一方、サンプルレートコンバーターにより、DAC(IC)の直前で高速リクロッキングすることで波形のスムージングとジッターの極小化を図るなど、最新技術は積極的に取り込んでいます。

これらの技術革新により、どんな音の姿になったか、是非、一度試聴してみて下さい。デジタル録音の本当の良さが納得でき、古いCDが精気をもって甦ります。

【ウッドケースの採用】

本機を開発の途中、ケース本体を金属製から木製にすることにより意図していた「音の鮮度」が一層際立つことを発見し、比較的影響の少ないフロント、リアのパネルのみアルミとして、ケースの上下、左右をすべて木製とすることにしました。

木製の場合の木材の種類による音質の変化も含めて、最善のセレクトを完了しました。これが「DA-5000W」型です。

木製ケースのコストは安くはありませんが、製造の合理化によって最低のアップに抑え、ひたすら「音の鮮度」保持を実現することができました。

【本機の仕様】

◆ 対応デジタル信号	24ビットまでの標準デジタル信号
◆ 対応サンプリング周波数	32～192kHz (RCA入力) 32～96kHz (TOS入力)
◆ リクロッキング周波数	約100kHz
◆ デジタル入力端子	RCAピンジャック、TOS 自動切替 (TOS優先)
◆ オーディオ出力	高性能半導体DCカップル出力
◆ オーディオ出力端子	RCAピンジャック
◆ 本体寸法	440W×110H×350D
◆ 重量	約5.0kg
◆ 消費電力	約15W
◆ 特長	ブロック毎の5トランジスタ、別電源構成

試聴、貸出機の用意があります。
メールまたはFAXでお申し込み下さい。

株式会社 日本オーディオ

〒164-0011 中野区中央5-4-24 第5小河原ビル501号

TEL 03-5340-3020 FAX 03-5340-3023

E-mail:nipaudio@netlaputa.ne.jp

URL:<http://www.netlaputa.ne.jp/~nipaudio/>

ptd. 2009/1